

耳鼻いんこう科

1. 概要

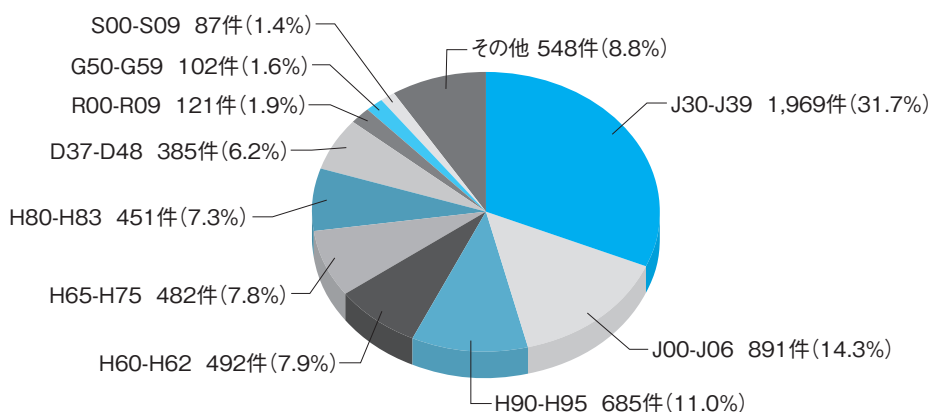
1日の外来受診患者数は約100～110人であった。年間の入院患者数は653人であった。手術室を使用した手術療方は年間412件であった。

中耳炎、めまい、難聴、顔面神経麻痺に対して投薬治療を行い、改善を認めない場合は当院にて外科的治療を行った。また、耳鳴り専門外来を新設し、専門的な治療を開始した。アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、鼻中隔湾曲症に対して、患者さまの病態や希望にあった治療（手術療法や投薬治療）を行った。慢性扁桃炎や睡眠時無呼吸症候群に対して、口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術を行った。また鼻出血、急性扁桃炎、喉頭蓋炎などの救急疾患については、重症度に合わせて入院治療をおこなった。咽頭・喉頭・甲状腺・唾液腺などの良性腫瘍に対しては、適応を定めて手術療法を行った。悪性腫瘍に対しては、それぞれの患者の状況に合わせて、根治と機能温存のバランスを取り、手術療法、化学療法、放射線療法の3者を組み合わせて治療を行なった。再建を必要とする様な症例も積極的に当院で行った。

(部長 小澤 泰次郎)

2. ICD-10による疾患別頻度

新規登録特有疾患件数：6,213件

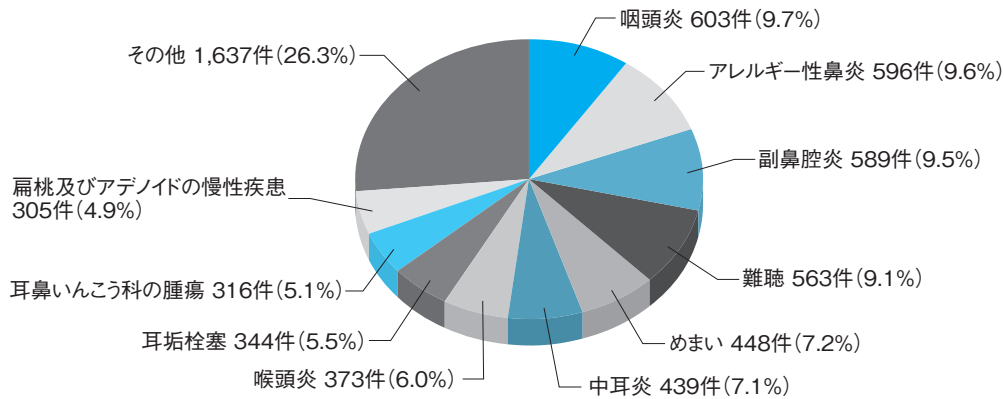


ICD-10 中間分類項目
J30-J39：上気道のその他の疾患
J00-J06：急性上気道感染症
H90-H95：耳のその他の障害
H60-H62：外耳疾患
H65-H75：中耳及び乳様突起の疾患
H80-H83：内耳疾患
D37-D48：性状不詳又は不明の新生物
R00-R09：循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候
G50-G59：神経、神経根及び神経そう<叢>の障害
S00-S09：頭部損傷

3. 活動報告

(1) 疾患別頻度

総件数：6,213件



(2) 入院患者の状況

主な救急疾患(入院加療を要した)	件数(件)
めまい	18
突発性難聴	9
顔面神経麻痺	12
急性扁桃炎・扁桃周囲の腫瘍	45
急性喉頭蓋炎・喉頭炎	27
鼻出血	7

主な手術療法(手術室使用)	件数(件)
口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術	195
内視鏡下副鼻腔手術	66
リンパ節摘出術	46
甲状腺腫瘍手術	8
鼓膜チューブ留置術	30
気管切開術	11
喉頭微細手術	19
耳下腺腫瘍手術	17
頸部郭清術	31
顎下腺摘出術	7
喉頭全摘術	3
咽頭悪性腫瘍手術	13